

## 第12回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

### ■ 第12回検討委員会：平成28年12月19日・20日

#### 【議題】

- ・シールドトンネルの安全対策等について
- ・シールドトンネル工事に伴う地表面変動計測について
- ・大泉JCT Fランプ分岐部の設計について

#### 【議事概要】

- ・平成28年11月8日に発生した福岡市地下鉄七隈線延伸工事現場における道路陥没事故について、公開された記者発表資料や報道等により報告がなされた。  
東京外環の工事においては、十分な安全対策を講じる必要があるとの意見が出された。
- ・東名JCTから発進する本線シールドトンネル及び中央JCTから発進するランプシールドトンネルについて、マシン仕様や施工時のモニタリング計画等に関する報告があり、安全対策に関する基本方針を確認した。
- ・大泉JCTにおける平成28年5月に実施した地質調査によって、新たに確認した地質に関する報告があった。大泉JCTから発進する本線シールドトンネルの発進架台の設計に際しては、更なる地質調査の結果に基づき、本線シールドトンネル発進時の反力を安全に受け持つ構造とすべきとの意見が出された。
- ・シールドトンネル工事に伴う地表面変動計測の計画について確認を行い、計測箇所、期間、方法について、適切に合理化すべきとの意見が出された。
- ・大泉JCTにおける本線とランプの分岐部（地中切り開き部）の詳細設計については、工事中の各段階における荷重条件による解析結果を踏まえ、地中切り開き部の構造形式を検討している段階である旨の報告があった。